

Counting Online Usage of NeTworked Electronic Resources

ネットワーク情報資源の使用量の積算

The COUNTER Code of Practice

COUNTER 実施規定

Journals and Databases: Release 2

雑誌およびデータベース: リリース 2

Published April 2005; Valid from 1 January 2006

日本語版翻訳

時実 象一 (愛知大学)

tokizane@aichi-u.ac.jp

2006. 1

翻訳版を作成の許可を与えていただいた、COUNTER の Dr. Peter T Shepherd に感謝します
この翻訳版は原資料の理解を助けるためのものであり、決して原資料に取って代わるものではありません

また本翻訳版が原資料を正しく翻訳している事を保証するものではありません

原資料については

<http://www.projectcounter.org/>

をご参照ください

翻訳で使用した訳語一覧

元の用語	訳語
activity	行為、操作
aggregator	統合サービス業者
audit	監査
Board of Directors	理事会
category	カテゴリー
code of practice	実施規定
collection	収集
compliant	準拠
confidentiality	情報守秘
content	コンテンツ
count	積算、数える
criteria	基準
customer	顧客
cycle	巡
data element	データ項目
deliver	提供
delivery	提供方法
Executive Committee	執行委員会
entry	項目
full text	全文
full text turnaways	全文リクエスト拒絶数
gateway	ゲートウェイ
guidance	手引き
implementation	実施
initiative	提案
institution	機関
intermediary	情報仲介業者
item	情報（品目）
level	レベル
log	記録
measure	測定
option	オプション
optional	任意

organization	組織
platform	プラットフォーム
process	処理手順
protocol	手順
publisher	出版者
refer	指す
reference	参照文献
register	台帳
release	リリース
render	表示
report	報告書
request	リクエスト
requirement	要件
resource	資源、資料
rule	規則
scope	適用範囲
service	サービス
specification	仕様
standard	標準
supplementary materials	補助資料
term	用語
terms and conditions	契約条件
timeout	時間切れ
time window	時間範囲
turnaway	拒絶
unique	固有の
usage	使用量
user	利用者
valid	有効な
validate	認証する
vendor	情報提供者
work	著作

Counting Online Usage of NeTworked Electronic Resources

ネットワーク情報資源の使用量の積算

The COUNTER Code of Practice

COUNTER 実施規定

Journals and Databases: Release 2

雑誌およびデータベース: リリース 2

Published April 2005; Valid from 1 January 2006

抄録

COUNTER はオンライン情報製品とサービスの使用量の信頼性の高い、一貫した、かつ互換性のある方法で計測するための国際的かつ拡張性のある一連の「実施規定」を提供することを目的として開発された。雑誌およびデータベースのための「COUNTER 実施規定」は次のものを特定する。計測すべきデータ項目: それらデータの定義: 使用量報告書の内容・形式・頻度と配布方法: 直接使用と情報仲介業者を通じた使用の報告書を合算する場合の手順。またこれは情報提供業者がデータ処理をおこない、手順を監査する際のガイドラインを示している。雑誌およびデータベースのための「COUNTER 実施規定」リリース 2 は、情報提供業者、図書館員、情報仲介業者からの意見を盛り込んで開発され、次の新規な特徴を持つ。

雑誌報告書 1 の改良: リリース 1 に含まれているデータに加えて、html と PDF の全文の要求を別に積算する。

使用量報告書に「出版社」および「プラットフォーム」フィールドの追加。

Excel および CSV 形式で要求される報告書の、各報告書ごとの詳細な表示規則を解説した実例。

表 1 の改良: リリース 1 ではこの表は用語と定義の包括的な一覧であった。今回はリリース 2 に該当する用語と定義のみを示した。包括的な一覧はリリース 2 の「付録 A」として出版される。

ダブルクリックをフィルターする際に用いる手順のより詳細な説明

情報仲介業者またはゲートウェイが介在している場合に使用量を記録し、報告する際の手順は、新規な表 2 にまとめられた。この手順の目的は、情報コンテンツを持つ出版社とそれのアクセスを提供する仲介統合サービス業者/ゲートウェイを二重に積算することを避けることにある。

新規な「付録 E」: COUNTER 対応の情報提供業者に必要な監査処理手順の定義を記述。

新規な「付録 G」: 使用量報告書の XML DTD を記述。

著作権

国際的著作権協定によるすべての権利を保有する。非商業的目的に限り、この出版物はいかなる方法によっ

て COUNTER による書面での許諾なしに複製・転送することが許される。商業的複製と配布については業務部長 Dr. Peter T Shepherd (pshepherd@projectCounter.org) に問い合わせられたい。

COUNTER Code of Practice

COUNTER 実施規定

Journals and Databases

雑誌およびデータベース

Release 2

リリース 2

Published April 2005; Valid from 1 January 2006

目次

1. はじめに.....	Page 3
2. 全般的情報.....	Page 5
3. 用語の定義.....	Page 7
4. 使用量報告書.....	Page 12
5. データ処理.....	Page 26
6. 監査.....	Page 27
7. 準拠.....	Page 27
8. 他の標準、手順、実施規定.....	Page 29
9. COUNTER の運営.....	Page 30
10. 「COUNTER 実施規定」の維持と開発.....	Page 31
付録.....	Page 31

注: セクション 3, 4, 5 が「COUNTER 実施規定」リリース 2 の中核的情報である。

1. はじめに

COUNTER (Counting Online Usage of NeTworked Electronic Resources) は 2002 年 3 月に正式に設立された。雑誌およびデータベースのための「COUNTER 実施規定」リリース 1 は 2002 年 12 月に、リリース 2 は 2005 年 4 月に発行された。COUNTER はオンライン使用量統計の記録と交換を促進する上で図書館員、情報提供者、情報仲介業者のためのものである。「COUNTER 実施規定」は測定するデータ項目、これらデータ項目の定義、出力される報告書の内容と形式、およびデータ処理と監査についての指針を提供する。使用量統計や報告書が「COUNTER 準拠」と称するためには、情報提供者はこの「実施規定」に沿った使用量統計を提供する必要がある。

COUNTER は国際的に図書館員、出版社、情報仲介業者およびそれらの職業団体から広く支持されている。「実施規定」はこれらすべての関係者からの代表の、理事会、執行委員会、および COUNTER 国際諮問委員会を通しての積極的な参加によって開発された。

以下の機関が COUNTER を支持している。

AAP, Association of American Publishers
ALPSP, The Association of Learned & Professional Society Publishers
ARL, Association of Research Libraries
ASA, Association of Subscription Agents and Intermediaries
BIC/EDItEUR
JISC, Joint Information Systems Committee
NCLIS, National Commission on Libraries and Information Science
NISO, National Information Standards Organization
PA, The Publishers Association
STM, International Association of Scientific, Technical & Medical Publishers
UKSG, United Kingdom Serials Group

COUNTER は下記の設立支援団体の寛大な財政的貢献によってこのプロジェクトが実現したことに深く感謝する。われわれは彼らの先見性、献身、支持に敬意を表する。

AAP/PSP, Association of American Publishers, Professional and Society Publishing Division
ACRL, Association of College & Research Libraries
AIP, American Institute of Physics
ALPSP, The Association of Learned & Professional Society Publishers
ARL, Association of Research Libraries

ASA, Association of Subscription Agents and Intermediaries
Atypon Systems Inc.
Blackwell Publishing
BMJ Publishing Group
EBSCO Information Services
Elsevier
HighWire Press
Ingenta
ICSTI, International Council for Scientific & Technical Information
Institute of Physics Publishing
JISC, Joint Information Systems Committee
JSTOR
Lippincott, Williams & Wilkins
Nature Publishing Group
New England Journal of Medicine
OCLC, Online Computer Library Center, Inc.
Oxford University Press
PA, The Publishers Association
ProQuest
STM, International Association of Scientific, Technical & Medical Publishers
Swets
Taylor & Francis Group
Thieme Publishing Group
UKSG, United Kingdom Serials Group

2. 全般的情報

2.1 目的

「COUNTER 実施規定」の目的は情報提供業者から発生する使用量統計の提供のための、一貫した、信頼性があり、互換性のある国際的な標準と手順を確立することにより、オンライン使用量の記録、交換、解釈を促進することである。COUNTER はいくつかの重要な進行中の提案、標準、手順を推進している。セクション 8 を参照。

2.2 適用範囲

「COUNTER 実施規定」は雑誌およびデータベースのオンライン使用量統計の国際的な記録と交換の枠組みを提供する。これには以下の内容が含まれる：測定するデータ項目；使用量報告書の内容と形式；データ処理の要件；監査の要件；情報仲介業者ゲートウェイや統合サービス業者が用いられている場合の二重積算を避けるためのガイドライン。

2.3 応用

COUNTER は図書館員、情報提供業者、情報仲介業者のためのものである。「実施規定」で定められたガイドラインに従えば、図書館員は異なった情報提供業者からの統計を比較することができ、購入の決定に役立てることができ、また使用環境をより効果的に計画することができる。COUNTER は情報提供業者、情報仲介業者が、顧客に便利な形式でデータを生成し、異なった提供チャンネルでの相対的な使用量を比較し、オンライン使用傾向についてよりよく知るために必要な詳細な仕様を提供する。COUNTER はまたオンライン使用量統計に関心を持つその他のひとびとも手引きとなる。

2.4 戦略

COUNTER は世界の図書館員、出版社、情報仲介業者の間の要求に答える形で公開の「実施規定」を提供している。熟慮の結果このリリースでは比較的簡潔で信頼性の高い一連の使用量報告書を提供することに限定することに決定した。「実施規定」は継続的に点検され、適用範囲と応用に関して関係者から積極的に意見を求めている。セクション 10 を参照。

2.5 管理

「COUNTER 実施規定」はイングランドで登録された非営利会社 Counter Online Metrics が所有し開発している。Counter Online Metrics は Oxford University Press の Richard Gedye を議長とする理事会によって

管理されている。理事会の下に執行委員会があり、COUNTER の日常的運営は業務部長 Peter Shepherd (pshepherd@projectCounter.org) の責任である。セクション 9 を参照。

2.6 定義

「実施規定」はリリース 2 に定義された使用量報告書に関連するデータ項目や用語だけでなく、情報提供業者が生成したいと考えるかもしれない他の報告書に関連するデータ項目や用語の定義を提供している。適用できる場合はできるだけ既存の ISO, NISO その他の定義を使用するようにし、出典を明記した。「付録 A」を参照。

2.7 版

「COUNTER 実施規定」は関係する諸団体からの意見をもとに拡張、改良される。各新バージョンはリリース番号という形式で COUNTER のウェブサイトで公表される。その際利用者には連絡される。現在電子ブックと電子参考図書を含めた別の「COUNTER 実施規定」が案の形で COUNTER のウェブサイトで公表されている。

2.8 監査と COUNTER 準拠

各情報提供業者の報告書と処理手順については COUNTER に準拠しているかどうかの監査が必要である。監査処理手順は簡潔で、直接的なものであり、情報提供業者にとって負担になったり経費が高いものであってはならない。

2.9 他の標準、手順、規定との関係

「COUNTER 実施規定」は、情報提供業者ネットワークの性能測定のための既存の多くの産業上の提案や標準の上に作られている。(セクション 8 参照) データ項目その他の用語の定義は必要に応じてそれらの資料から採用されており、それらは「付録 A」に記載されている。

2.10 「実施規定」への意見

COUNTER 執行委員会は「実施規定」への意見を歓迎する。セクション 10 を参照。

3. 用語の定義

下記の表 1 には「実施規定」リリース 2 に直接関係の一覧で、各語の定義と必要に応じて実例を示してある。「COUNTER 実施規定」準拠と表示するためには情報提供者はここに示された定義を使用する必要がある。

表 1: リリース 2 使用量報告書に関する用語の定義のアルファベット順一覧
(この一覧は「付録 A」にあるより包括的な用語集からの抜粋である)

用語 (英)	用語 (和)	実例/形式	定義	用語集の参照
Aggregator	統合サービス業者	ProQuest, Gale, Lexis Nexis	複数の出版社からのコンテンツを搭載し顧客に直接提供し、顧客から料金を受け取る情報提供者の一種	3.1.1.10
Article	記事		雑誌その他の逐次刊行物で出版される執筆された原著作の情報。記事はそれ自体で完結しているが、通常参照文献として関連する他の出版された著作を引用する。	3.1.2.2
Collection	コレクション	Science Direct Backfiles	1 または複数の情報提供者から提供される、名称のついたオンライン情報製品のグループで、グループ単位で購読/ライセンスし検索できるもの	3.1.1.18
Consortium	コンソーシアム	Ohiolink	機関または利用者がオンライン・アクセスを通ずコンソーシアム。コンソーシアムは特定のグループ (機関) の一連の IP アドレスで定義される。	3.3.3
Consortium member	コンソーシアム会員	Ohio State University	コンソーシアムの一員として所属利用者のためにオンライン情報資源のアクセスを得る大学、病院、その他の機関。コンソーシアム会員はあるコンソーシアムの一連の IP アドレスのサブセットで定義される。	3.3.4
Customer	顧客		情報提供者の特定の範囲のサービス/コンテンツへのアクセスに対して情報提供者に料金を支払い、また情報提供者との間での契約条件にしばられる個人または組織。	3.3.1
Database	データベース	Social Science Abstracts	電子的に蓄積されたデータまたは単位レコード (ファクト、書誌データ、テキスト) の集積物で、データの検索および操作のための共通の利用者インタフェースおよびソフトウェアをもつもの (NISO)	3.1.1.11
Database record	データベース・レコード		標準化された形式を持つ個々のレコードで、そのコンピュータで処理可能な集積物がデータベースとなるもの。	3.1.2.7
Full-text article	全文記事		ある記事の参考文献、図表を含む完全なテキストで、合わせて出版された補助資料へのリンクも含む。	3.1.2.6

Gateway	ゲートウェイ	SWETSwise, OCLC ECO	利用者が要求した情報を自分では蓄積せず、a) その情報をダウンロード可能なホストまたは情報提供者のサイトに利用者を案内するか、または b) その情報を情報提供者から入手して、ゲートウェイ環境下で利用者に提供する仲介的オンラインサービス。	3.1.1.8
Host	ホスト	Ingenta, HighWire	利用者がダウンロード可能な情報を蓄積する、仲介的オンラインサービス。	3.1.1.7
HTML	HTML		HTML で記述されており、ウェブ・ブラウザで可読な記事。	3.1.2.6.1
IP address	IP アドレス	一次サービスから見たときの IP アドレス。これはエンドユーザの実 IP かもしれないし、プロキシの IP であるかもしれない。これは IP アドレス認証でない場合も必ず記録される。	セッションがおこなわれたコンピュータの IP アドレス。	3.1.4.2
Item	情報 (品目)	全文、TOC、抄録、データベース・レコード	出版された著作の固有に同定可能な部分で、原著または要約または他の著作物の批評であってもよい。たとえば同一の全文記事の PDF, Postscript, HTML は異なった情報として数える。	3.1.2.1
Item Requests	情報リクエスト		検索の結果利用者が要求する情報の数。利用者の要求には情報の閲覧、ダウンロード、電子メール送付、印刷などが含まれる。これらの行為はブラウザでなくサーバで管理される。拒絶 (Turnaways) も数える。(3.1.5.4 参照)	3.1.2.9
Journal	雑誌	Tetrahedron Letters	名称のある定期刊行物で、あるトピックに関する原著記事が継続的に蓄積されるもの。	3.1.1.5
Licensee	ライセンス被許諾者		=購読者 (定義を見よ)	3.3.2
Online ISSN	オンライン ISSN	任意の文字列 (将来は最大 13 桁になる予定)	雑誌のオンライン版に付与される固有の国際標準逐次刊行物番号 (International Standard Serial Number) で、雑誌発行国の ISSN 代理機関が付与する。(冊子体 ISSN を参照)	3.1.1.13
PDF	PDF		Adobe Acrobat リーダで可読な portable document format 形式の記事で、冊子体のページに印刷される記事をオンラインで模倣しようとしている。	3.1.2.6.2
Platform	プラットフォーム		利用者にコンテンツを提供し、使用量を数え、COUNTER 使用量報告書を提出する、統合サービス業者、ホスト、出版社またはサービスのインタフェース。	3.1.1.27
Print ISSN	冊子体 ISSN	任意の文字列 (将来は最大 13 桁になる予定)	雑誌の冊子体版に付与される固有の国際標準逐次刊行物番号 (International Standard Serial Number) で、雑誌発行国の ISSN 代理機関が付与する。各 ISSN は特定の積算対象資料の固有の同定番号となる。ISSN は過去、現在、未来発行予定を問わず、また提供のメディ	3.1.1.12

			アを問わず、逐次発行される資料のほとんどに付与されている。継続的に発行される資料とは長期にわたって、終刊の予定なく発行されるものである。ISSN は逐次刊行物とほとんどの蓄積された資料に付与される。(ISSN Network 総会および理事会)	
Publisher	出版社	Wiley, Cambridge University Press	情報を委託され、制作し、集積し、評価し、オンラインまたは冊子体でホストし、提供し、取引することを機能とする組織。	3.1.1.2
Search	検索		特定の知的質問、通常オンラインサービスの検索式をサーバに送信することと同義。(EBSCO 説明)	3.1.2.8
Service	サービス	Science Direct, Academic Universe, Wiley Interscience	1 または複数の情報提供者から提供される、名称のついたオンライン情報製品のグループで、完全なセットまた部分的に購読/ライセンスし検索できるもの	3.1.1.1
Session	セッション		オンラインサービスの成功リクエスト。これは利用者の 1 巡の操作であり、通常利用者のサービスまたはデータベースへの接続で始まり、明示的に (exit または logout によりサービスから離れる) または暗黙的に (利用者の操作がないため時間切れとなる) に操作を終了することにより終了する。(NISO)	3.1.4.2
Subscriber	購読者		情報提供者の特定の範囲のサービス/コンテンツへの一定期間のアクセスに対して情報提供者に料金を支払い、また情報提供者との間での契約条件にしばられる個人または組織。	3.3.1
Successful request	成功リクエスト		ウェブサーバログの場合は、NSCA が定義した特定のリターンコードが返されたリクエスト	3.1.2.10
Turnaway (Rejected Session)	拒絶 (拒絶セッション)		拒絶 (拒絶セッション) は電子サービスへの成功しなかったログインで、ライセンスで許容されている同時接続利用者数を越えた場合に発生する。	3.1.4.4
User	利用者		(通常機関から) オンライン資料へのアクセスを認められた個人で、セッションをおこなう。	3.3.6
Username and Password	利用者名とパスワード		定義不要	3.1.3.1
Vendor	情報提供者	Wiley, Oxford University Press	出版社またはオンライン情報提供者で、自分のライセンス・コンテンツを顧客に提供し、顧客が契約関係を持つ。	3.1.1.9
Volume	巻	英数字、前にゼロを入れない	番号のついた、最低 1 号からなる雑誌の集積単位。冊子体では巻は 2 号以上からなる巻は通常出版社では製本せず、購入した図書館が冊子体の保存に容易なように硬い表紙で製本する。本では番号のついた記事、章、項目の集積単位で、同時または逐次に発行される	3.1.1.15

			複数巻からなる、より大きい著作物の一部。	
Year	年		記事、情報、号、巻が、メディアを問わず最初に発行された年	3.1.1.16

4. 使用量報告書

このセクションでは COUNTER 準拠であるために必要な「COUNTER 使用量報告書」とその内容、形式、提供の仕様について記載する。COUNTER 準拠であるためには、情報提供者は、各該当製品に対して適切な COUNTER 準拠使用量報告書を、追加料金なしに顧客に提供しなくてはならない。

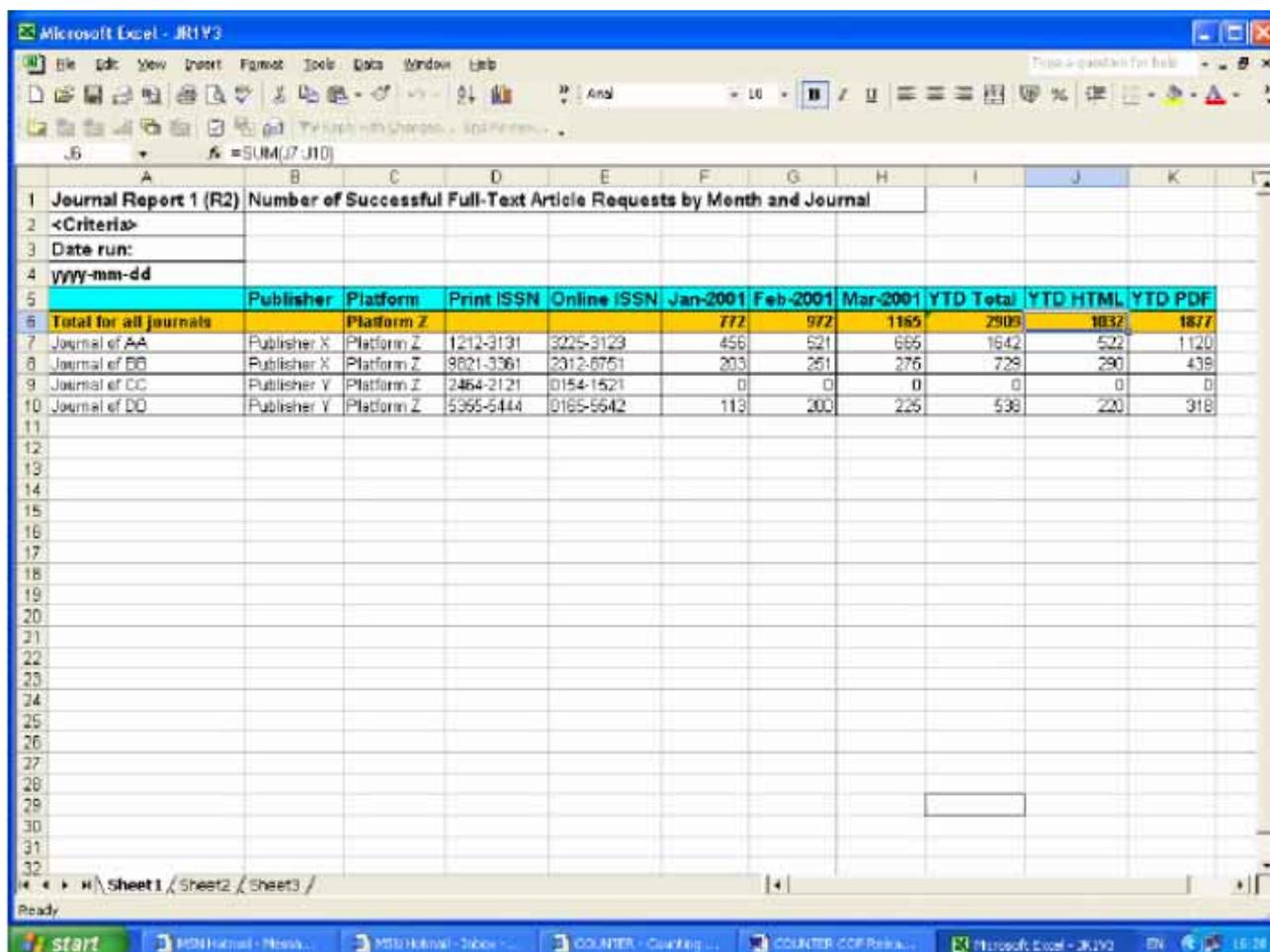
4.1 使用量報告書

下記に Excel 形式での「使用量報告書」の例を、「表示規則」と合わせて示した。(セクション 4.3 の他の報告書提供オプション参照)。COUNTER 準拠であるためには、報告書は指定された形式に正確に一致しなくてはならない。

Journal Report 1: Number of Successful Full-Text Article Requests by Month and Journal

雑誌報告書 1: 月別雑誌別の全文記事成功リクエスト数

(完全な雑誌名、冊子体 ISSN, オンライン ISSN 記載)



	Publisher	Platform	Print ISSN	Online ISSN	Jan-2001	Feb-2001	Mar-2001	YTD Total	YTD HTML	YTD PDF
Total for all journals					772	972	1165	2909	1032	1877
Journal of AA	Publisher X	Platform Z	1212-3131	3225-3123	456	521	655	1642	522	1120
Journal of BB	Publisher X	Platform Z	9821-3361	2012-6751	203	251	276	729	290	439
Journal of CC	Publisher Y	Platform Z	2464-2121	0154-1521	0	0	0	0	0	0
Journal of DD	Publisher Y	Platform Z	5355-5444	0165-5542	113	200	225	538	220	318

注:

1. 「criteria (基準)」にはたとえば使用量報告書が該当する組織レベル、たとえば NorthEast Research Libraries Consortium, Yale University、などを記載する。
2. 「Total for all journals (全雑誌合計)」の行は表の一番上に置き、必要なら表の残りの部分に影響を与えずに容易に取り除けるようにする。これは表の雑誌数が表によって大きく変動するからである。
3. 全文記事リクエストが毎月ゼロの雑誌も雑誌報告書 1 に収録されなくてはならない。ただし、使用量を記録・報告する担当が統合サービス業者またはゲートウェイの場合はその限りではない (セクション 7 の表 2 を参照)。

上記報告書は使用量データの収集と報告に関する「COUNTER 実施規定」に準拠している。用語の定義についてはセクション 3 を参照

雑誌報告書 1 の CSV 形式については「付録 F」を参照

雑誌報告書 1: 表示規則

全般的な注:

セルの背景色はすべてのセルについて任意である。どのセルも単引用符、二重引用符、カンマ、タブを含んではならない。

これらの規則は JR1 の Excel, CSV の両方の形式に適用される。以下で使用されるセル記号は Excel の標準の記号である。すなわち B6 はファイルの 6 行目の 2 番目の列のセルを指す。CSV ではこれは 6 行目の 2 番目のフィールド項目を指す。

表示/形式規則:

1. **Cell A1** の値はテキスト “Journal Report 1(R2) (雑誌報告書 1 (R2))”
2. **Cell B1** の値はテキスト “Number of Successful Article Requests by Month and Journal”
3. **Cell A2** の値は「実施規定」で定義された組織名 (たとえば “NorthEast Research Libraries Consortium”, “Yale University” など)
Consortium” or “Yale University”)
4. **Cell A3** の値はテキスト “Date run (作成日付)”
5. **Cell A4** の値は報告書が作成された日付 (yyyy-mm-dd 形式).. For example, a report run on 12 Feb 2005 would show “2005-02-12”.
6. **Cell A5** は空白
7. **Cell B5** の値はテキスト “Publisher (出版者)”
8. **Cell C5** の値はテキスト “Platform (プラットフォーム)”
9. **Cell D5** の値はテキスト “Print ISSN (冊子体 ISSN)”

10. **Cell E5** の値はテキスト "Online ISSN (オンライン ISSN)"
11. **Cell F5** の値はこの報告書のデータの最初の月を示す年月 (Mmm-yyyy 形式). 2005 年 1 月であれば、値は "Jan-2005" となる
12. **Cell G5, H5** の値は F5 以降のこの報告書に含まれる各月のデータが続く (同じ Mmm-yyyy 形式)
13. **Cell I5** (この例では、最後の月のデータの次の列) の値はテキスト "YTD Total".
14. **Cell J5** (この例では、最後の月のデータの 2 つ次の列) の値はテキスト "YTD HTML".
15. **Cell K5** (この例では、最後の月のデータの 3 つ次の列) の値はテキスト "YTD PDF".
16. **Cell A6** の値はテキスト "Total for all journals (全雑誌合計)"
17. **Cell B6** の値は、列 A にあるすべての雑誌が同一の出版社/情報提供者のものである場合は出版者名/情報提供者名、そうでない場合は空白.
18. **Cell C6** の値はプラットフォーム名
19. **Cells D6 and E6** は空白
20. **Cell A7** から **Cell A[n]** の値は各雑誌名
21. **Cell B7** から **Cell B[n]** の値は各雑誌の出版者名
22. **Cell C7** から **Cell C[n]** の値は各雑誌が提供されているプラットフォーム名
23. **Cell D7** から **Cell D[n]** の値は冊子体 ISSN
24. **Cell E7** から **Cell E[n]** の値はオンライン ISSN
25. **Cell F7** から **Cell F[n]** の値は該当月のその雑誌の全文リクエスト数合計
26. 同様に、**Cell G7** から **Cell G[n]**, **Cell H7** から **Cell H[n]** などの値は該当月の全文リクエスト数合計
27. **Cell I7** から **Cell I[n]** (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からの全文リクエスト数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月の全文リクエスト合計の合計).
28. **Cell J7** から **Cell J[n]** (または年初からの全文リクエスト合計の列の次の列) の値は年初からの全文 HTML リクエスト数合計.
29. **Cell K7** から **Cell K[n]** (または年初からの全文 HTML リクエスト合計の列の次の列) の値は年初からの全文 PDF リクエスト数合計.
30. **Cells F6** から **Cell K6** (または表の最後の列) の値は各列の合計を示す。6 行目の各セルの数字は、7 行目から表の最後の行までのセルの数字の合計に等しくなければならない。

Note About HTML and PDF Totals:

HTML, PDF 合計についての注:

(年初からの全文 HTML リクエスト合計) + (年初からの全文 PDF リクエスト数合計) を加えたものは、提供している形式によっては (年初からの全文リクエスト合計) とは異なる場合がある。たとえば PostScript などその他の形式は (年初からの全文リクエスト合計) には含まれる。出版社/情報提供者はこれら他の形式について別の行を追加してはならない。HTML, PDF, TOTAL のみが必要である。

Journal Report 2: Turnaways by Month and Journal

雑誌報告書 2: 月別雑誌別の拒絶数

(完全な雑誌名、冊子体 ISSN, オンライン ISSN 記載)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Journal Report 2 (R2)	Turnaways by Month and Journal								
2	<Criteria>									
3	Date run:									
4	yyyy-mm-dd									
5		Publisher	Platform	Print ISSN	Online ISSN	Page type	Jan-2001	Feb-2001	Mar-2001	YTD Total
6	Total for all Journals	Platform Z					41	60	28	129
7	Journal of AA	Publisher X	Platform Z	1212-3131	2225-3123	Full-text Turnaways	23	40	12	75
8	Journal of BB	Publisher Y	Platform Z	9821-3361	2312-8751	Full-text Turnaways	18	20	16	54
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										

注:

1. 「criteria (基準)」にはたとえば使用量報告書が該当する組織レベル、たとえば NorthEast Research Libraries Consortium, Yale University、などを記載する。

上記報告書は使用量データの収集と報告に関する「COUNTER 実施規定」に準拠している。用語の定義についてはセクション 3 を参照

雑誌報告書 2 の CSV 形式については「付録 F」を参照

雑誌報告書 2: 表示規則

全般的な注:

セルの背景色はすべてのセルについて任意である。どのセルも単引用符、二重引用符、カンマ、タブを含んではならない。

これらの規則は JR2 の Excel, CSV の両方の形式に適用される。以下で使用されるセル記号は Excel の標準の記号である。すなわち B6 はファイルの 6 行目の 2 番目の列のセルを指す。CSV ではこれは 6 行目の 2 番目のフィールド項目を指す。

表示/形式規則:

1. **Cell A1** の値はテキスト “Journal Report 2 (R2) (雑誌報告書 2 (R2))”
2. **Cell B1** の値はテキスト “Turnaways by Month and Journal (月別雑誌別拒絶数)”
3. **Cell A2** の値は「実施規定」で定義された組織名 (たとえば “NorthEast Research Libraries Consortium”, “Yale University” など)
4. **Cell A3** の値はテキスト “Date run (作成日付)”
5. **Cell A4** の値は報告書が作成された日付 (yyyy-mm-dd 形式). たとえば 2005 年 2 月 12 日に作成した報告書は “2005-02-12” となる
6. **Cell A5** は空白
7. **Cell B5** の値はテキスト “Publisher (出版者)”
8. **Cell C5** の値はテキスト “Platform (プラットフォーム)”
9. **Cell D5** の値はテキスト “Print ISSN (冊子体 ISSN)”
10. **Cell E5** の値はテキスト “Online ISSN (オンライン ISSN)”
11. **Cell F5** の値はテキスト “Page type (ページ種別)”
12. **Cell G5** の値はこの報告書のデータの最初の月を示す年月 (Mmm-yyyy 形式). 2005 年 1 月であれば、値は “Jan-2005” となる
13. **Cell H5, I5** の値は G5 以降のこの報告書に含まれる各月のデータが続く (同じ Mmm-yyyy 形式)
14. **Cell J5** (この例では、最後の月のデータの次の列) の値はテキスト “YTD Total”.
15. **Cell A6** の値はテキスト “Total for all journals (全雑誌合計)”
16. **Cell B6** の値は、列 A にあるすべての雑誌が同一の出版社/情報提供者のものである場合は出版者名/情報提供者名、そうでない場合は空白.
17. **Cell C6** の値はプラットフォーム名
18. **Cells D6, E6 and F6** は空白
19. **Cell A7** から **Cell A[n]** の値は各雑誌名
20. **Cell B7** から **Cell B[n]** の値は各雑誌の出版者名
21. **Cell C7** から **Cell C[n]** の値はプラットフォーム名
22. **Cell D7** から **Cell D[n]** の値は冊子体 ISSN
23. **Cell E7** から **Cell E[n]** の値はオンライン ISSN
24. **Cell F7** から **Cell F[n]** の値はテキスト “Full-text Turnaways (全文リクエスト拒絶数)”
25. **Cell G7** から **Cell G[n]** の値は該当月のその雑誌の全文リクエスト拒絶数合計
26. 同様に、**Cell H7** から **Cell H[n]**, **Cell I7** から **Cell I[n]** などの値は該当月の全文リクエスト拒絶数合計

27. Cell J7 から Cell J[n] (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からの全文リクエスト拒絶数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月の全文リクエスト拒絶数合計の合計).

28. Cells G6 から Cell J6 (又は表の最後の列) の値は各列の合計を示す。6 行目の各セルの数字は、7 行目から表の最後の行までのセルの数字の合計に等しくなければならない。

Database Report 1: Total Searches and Sessions by Month and Database

データベース報告書 1: 月別データベース別の検索数とセッション数

注:

1. 「criteria (基準)」にはたとえば使用量報告書が該当する組織レベル、たとえば NorthEast Research Libraries Consortium, Yale University、などを記載する。

上記報告書は使用量データの収集と報告に関する「COUNTER 実施規定」に準拠している。用語の定義についてはセクション 3 を参照

データベース報告書 1 の CSV 形式については「付録 F」を参照

Database Report 1: Display Rules

データベース報告書 1: 表示規則

全般的な注:

セルの背景色はすべてのセルについて任意である。どのセルも単引用符、二重引用符、カンマ、タブを含んではならない。

Database Report 1 (R2) Total Searches and Sessions by Month and Database							
<Criteria>							
Date run:							
yyyy-mm-dd							
	Publisher	Platform		Jan-2001	Feb-2001	Mar-2001	YTD Total
Database AA	Publisher X	Platform Z	Searches run	2322	2520	2742	7584
Database AA	Publisher X	Platform Z	Sessions	1821	1929	2211	5961
Database BB	Publisher Y	Platform Z	Searches run	3456	3210	4459	11135
Database BB	Publisher Y	Platform Z	Sessions	1987	2200	2544	6731

これらの規則は DB1 の Excel, CSV の両方の形式に適用される。以下で使用されるセル記号は Excel の標準の記号である。すなわち B6 はファイルの 6 行目の 2 番目の列のセルを指す。CSV ではこれは 6 行目の 2 番目のフィールド項目を指す。

表示/形式規則:

1. Cell A1 の値はテキスト “Database Report 1 (R2) (データベース報告書 1 (R2))”
2. Cell B1 の値はテキスト “Total Searches and Sessions by Month and Database (月別データベース別の検索数とセッション数)”
3. Cell A2 の値は「実施規定」で定義された組織名 (たとえば “NorthEast Research Libraries Consortium”, “Yale University” など)
4. Cell A3 の値はテキスト “Date run (作成日付)”
5. Cell A4 の値は報告書が作成された日付 (yyyy-mm-dd 形式). たとえば 2005 年 2 月 12 日に作成した報告書は “2005-02-12” となる
6. Cell A5 は空白
7. Cell B5 の値はテキスト “Publisher (出版者)”

8. Cell C5 の値はテキスト “Platform (プラットフォーム)”
9. Cell D5 は空白
10. Cell E5 の値はこの報告書のデータの最初の月を示す年月 (Mmm-yyyy 形式). 2005 年 1 月であれば、値は "Jan-2005" となる
11. Cell F5, G5 の値は E5 以降のこの報告書に含まれる各月のデータが続く (同じ Mmm-yyyy 形式)
12. Cell H5 (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値はテキスト “YTD Total”.
13. Cell A6 の値はデータベース AA の名称
14. Cell B6 の値は出版者名
15. Cell C6 の値はプラットフォーム名
16. Cell D6 の値はテキスト “Searches run (検索回数)”
17. Cell E6 の値は該当月の検索回数
18. 同様に, Cell F6, Cell G6, などの値は該当月の検索回数
19. Cell H6 (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からの検索回数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月の検索回数の合計).
20. Cell A7 の値はデータベース AA の名称
21. Cell B7 の値は出版者名
22. Cell C7 の値はプラットフォーム名
23. Cell D7 の値はテキスト “Sessions (セッション数)”
24. Cell E7 の値は該当月のセッション数
25. 同様に, Cell F7, Cell G7, などの値は該当月のセッション数
26. Cell H7 (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からのセッション数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月のセッション数の合計).
27. Cell A9 の値はデータベース BB の名称
28. Cell B9 の値は出版者名
29. Cell C9 の値はプラットフォーム名
30. Cell D9 の値はテキスト “Searches run (検索回数)”
31. Cell E9 の値は該当月の検索回数
32. 同様に, Cell F9, Cell G9, などの値は該当月の検索回数
33. Cell H9 (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からの検索回数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月の検索回数の合計).
34. Cell A10 の値はデータベース BB の名称
35. Cell B10 の値は出版者名
36. Cell C10 の値はプラットフォーム名
37. Cell D10 の値はテキスト “Sessions (セッション数)”
38. Cell E10 の値は該当月のセッション数
39. 同様に, Cell F10, Cell G10, などの値は該当月のセッション数

40. Cell H10 (又は、最後の月のデータ列の次の列) 年初からのセッション数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月のセッション数の合計).

上記手順をデータベース CC, DD, EE, などについて繰り返す。

Database Report 2: Turnaways by Month and Database

データベース報告書 2: 月別データベース別の拒絶数

	Publisher	Platform	Page type	Jan-2001	Feb-2001	Mar-2001	YTD Total
Total for all databases				41	60	28	129
Database AA	Publisher X	Platform Z	Database turnaways	23	40	12	75
Database BB	Publisher Y	Platform Z	Database turnaways	18	20	16	54

注:

1. 「criteria (基準)」にはたとえば使用量報告書が該当する組織レベル、たとえば NorthEast Research Libraries Consortium, Yale University、などを記載する。

上記報告書は使用量データの収集と報告に関する「COUNTER 実施規定」に準拠している。用語の定義についてはセクション 3 を参照

データベース報告書 2 の CSV 形式については「付録 F」を参照

データベース報告書 2: 表示規則

全般的な注:

セルの背景色はすべてのセルについて任意である。どのセルも単引用符、二重引用符、カンマ、タブを含んではない。

これらの規則は DB2 の Excel, CSV の両方の形式に適用される。以下で使用されるセル記号は Excel の標準の記号である。すなわち B6 はファイルの 6 行目の 2 番目の列のセルを指す。CSV ではこれは 6 行目の 2 番目のフィールド項目を指す。

表示/形式規則:

1. **Cell A1** の値はテキスト “Database Report 2 (R2) (データベース報告書 2 (R2))”
2. **Cell B1** の値はテキスト “Turnaways by Month and Database (月別データベース別拒絶数)”
3. **Cell A2** の値は「実施規定」で定義された組織名 (たとえば “NorthEast Research Libraries Consortium”, “Yale University” など)
4. **Cell A3** の値はテキスト “Date run (作成日付)”
5. **Cell A4** の値は報告書が作成された日付 (yyyy-mm-dd 形式). たとえば 2005 年 2 月 12 日に作成した報告書は “2005-02-12” となる
6. **Cell A5** は空白
7. **Cell B5** の値はテキスト “Publisher (出版者)”
8. **Cell C5** の値はテキスト “Platform (プラットフォーム)”
9. **Cell D5** の値はテキスト “Page type (ページ種別)”
10. **Cell E5** の値はこの報告書のデータの最初の月を示す年月 (Mmm-yyyy 形式). 2005 年 1 月であれば、値は “Jan-2005” となる
11. **Cell F5, G5** の値は C5 以降のこの報告書に含まれる各月のデータが続く (同じ Mmm-yyyy 形式)
12. **Cell H5** (この例では、最後の月のデータの次の列) の値はテキスト “YTD Total”.
13. **Cell A6** の値はテキスト “Total for all databases (全データベースの合計)”
14. **Cells B6, C6 and D6** は空白
15. **Cell A7** から **Cell A[n]** の値は各データベースの名称
16. **Cell B7** から **Cell B[n]** の値は出版者名
17. **Cell C7** から **Cell C[n]** の値はプラットフォーム名
18. **Cell D7** から **Cell D[n]** の値はテキスト “Database turnaways (データベース拒絶数)”
19. **Cell E7** から **Cell E[n]** の値は該当月のデータベース拒絶数の合計
20. 同様に, **Cell F7** から **Cell F[n]**, **Cell G7** から **Cell G[n]** などの値は該当月のデータベース拒絶数の合計
21. **Cell H7** から **Cell H[n]** (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からのデータベース拒絶数合計

(1 月、2 月など報告月までの各月のデータベース拒絶数合計の合計).

22. Cells E6 から Cell H6 (又は表の最後の列) の値は各列の合計を示す。6 行目の各セルの数字は、7 行目から表の最後の行までのセルの数字の合計に等しくなければならない。

Database Report 3: Total Searches and Sessions by Month and Service

データベース報告書 3: 月別サービス別検索数とセッション数

	Platform		Jan-2001	Feb-2001	Mar-2001	YTD Total
Total for Service AA	Platform Z	Searches run	16567	18643	20957	56197
Total for Service AA	Platform Z	Sessions	12007	12677	13008	37692

注:

1. 「criteria (基準)」にはたとえば使用量報告書が該当する組織レベル、たとえば NorthEast Research Libraries Consortium, Yale University、などを記載する。

上記報告書は使用量データの収集と報告に関する「COUNTER 実施規定」に準拠している。用語の定義についてはセクション 3 を参照

データベース報告書 3 の CSV 形式については「付録 F」を参照

データベース報告書 3: 表示規則

全般的な注:

セルの背景色はすべてのセルについて任意である。どのセルも単引用符、二重引用符、カンマ、タブを含んではならない。

これらの規則は DB3 の Excel, CSV の両方の形式に適用される。以下で使用されるセル記号は Excel の標準の記号である。すなわち B6 はファイルの 6 行目の 2 番目の列のセルを指す。CSV ではこれは 6 行目の 2 番目のフィールド項目を指す。

表示/形式規則:

1. **Cell A1** の値はテキスト “Database Report 3 (R2) (データベース報告書 3 (R2))”
2. **Cell B1** の値はテキスト “Total Searches and Sessions by Month and Service (月別サービス別検索数とセッション数)”
3. **Cell A2** の値は「実施規定」で定義された組織名 (たとえば “NorthEast Research Libraries Consortium”, “Yale University” など)
4. **Cell A3** の値はテキスト “Date run (作成日付)”
5. **Cell A4** の値は報告書が作成された日付 (yyyy-mm-dd 形式). たとえば 2005 年 2 月 12 日に作成した報告書は “2005-02-12” となる
6. **Cell A5** は空白
7. **Cell B5** の値はテキスト “Platform (プラットフォーム)”
8. **Cell C5** は空白
9. **Cell D5** の値はこの報告書のデータの最初の月を示す年月 (Mmm-yyyy 形式). 2005 年 1 月であれば、値は “Jan-2005” となる
10. **Cell E5, F5** の値は C5 以降のこの報告書に含まれる各月のデータが続く (同じ Mmm-yyyy 形式)
11. **Cell G5** (この例では、最後の月のデータの次の列) の値はテキスト “YTD Total”.
12. **Cell A6** の値はサービス名
13. **Cell B6** の値はプラットフォーム名
14. **Cell C6** の値はテキスト “Searches run (検索回数)”
15. **Cell D6** の値は該当月のそのサービスにおける検索回数の合計
16. 同様に, **Cells E6 to F6**, などの値は該当月の検索回数の合計
17. **Cell G6** (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からの検索回数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月の検索回数合計の合計).
18. **Cell A7** の値はサービス名
19. **Cell B7** の値はプラットフォーム名
20. **Cell C7** の値はテキスト “Sessions (セッション数)”
21. **Cell D7** の値は該当月のそのサービスにおけるセッション数の合計
22. 同様に, **Cells E7 to F7**, などの値は該当月のセッション数の合計

23.Cell G7 (又は、最後の月のデータ列の次の列) の値は年初からのセッション数合計 (1 月、2 月など報告月までの各月のセッション数合計の合計)。

上記手順をデータベース CC, DD, EE, などについて繰り返す。

使用量報告書の顧客カテゴリー

顧客の情報提供者に対するアカウント、アクセス、権利はさまざまな方法で取り扱われるが、一番普通なのが IP アドレスまたはパスワードによるものである。情報提供者は使用量報告書をコンソーシアム、コンソーシアム会員、機関、部署の各レベルで提供しなくてはならない。セクション 4a ではコンソーシアム・レベルに提出する報告書について説明する。

a. コンソーシアムへの使用量報告書

もしある製品がコンソーシアムによって購入されている場合は、情報提供者はコンソーシアム全体に対して容易に入手できる統合使用量報告書、および各コンソーシアム会員への個別報告書 (コンソーシアム会員または機関との契約によりそれが禁止されている場合を除く) を提供しなくてはならない。この報告書はコンソーシアム会員のみを含んでいなくてはならない (コンソーシアム外の余分な機関を含まない)。統合報告書は月別利別のコンソーシアム全体の総計を含む。

1 回の検索ですべての報告書が入手できる必要があるが、個々の報告書 (統合報告個々の会員の報告書) は大きくなり過ぎないように異なるファイルまたはページに記載されている必要がある。

コンソーシアム報告書の提供方法はセクション 4.3 の仕様にもとづかなくてはならない。

コンソーシアム報告書の内容

コンソーシアムについては以下の 2 報告書のみが必要である。

i. 雑誌に対して

Journal Report 1: Number of Successful Full-Text Article Requests by Month and Journal.

雑誌報告書 1: 月別雑誌別の全文記事成功リクエスト数.

この報告書は正確にセクション 4.1.1 の見本の形式でなくてはならない。報告書ファイルにはコンソーシアム名と、雑誌名、出版社、プラットフォーム、冊子体 ISSN, オンライン ISSN, 月別および年の成功全文記事リクエスト数などの標準データ項目を含まなくてはならない。

ii. データベースに対して

Database Report 1: Total Searches and Sessions by Month and Database.

データベース報告書 1: 月別データベース別の検索数とセッション数.

この報告書は正確にセクション 4.1.1 の見本の形式でなくてはならない。これにはコンソーシアム名と、データベース名、出版社、プラットフォーム、月別および年の成功全文記事リクエスト数などの標準データ項目を含まなくてはならない。

情報提供者はその他の標準報告書 (雑誌報告書 2, データベース報告書 2, データベース報告書 3) も提供することが好ましいが、雑誌報告書 1 とデータベース報告書 1 は COUNTER 準拠のためには必須である。

4.3 報告書の提供方法

報告書の提供方法は以下の標準に従わなくてはならない。

報告者は Microsoft Excel ファイル (セクション 4.1 参照)、CSV ファイル (「付録 F」参照)、または Microsoft Excel ピボットテーブルに容易にインポートできるファイルで提供されなくてはならない。また報告書は XML 形式で提供してもよい。その場合の XML DTD は「付録 G」に記載されている。

各報告書は大きくなり過ぎないように異なるファイルまたはページに記載されている必要がある。

報告書はパスワードで管理された Web サイト (データが更新された際に電子メールのアラートを送る) から入手できる必要がある。コンソーシアム・レベルの報告書はコンソーシアム全会員の共通の利用者 ID とパスワードでアクセスできなければならない。(この利用者 ID とパスワードは各機関の管理用のものとは異なっている必要がある。)

報告書は簡単に入手できなくてはならない

報告書は毎月提供されなくてはならない

データは各報告期間終了後 4 週間以内に更新されなくてはならない

前暦年のデータと今年の現在までのデータが提供されなくてはならない

5 データ処理

顧客に提供する使用量報告書のために情報提供者/情報仲介業者が収集する使用量データは、意図した使用のみが記録されるように、また利用者が意図しないリクエストを除去するように、基本的な要件を満足している必要がある。使用量レコードが生成される方式はプラットフォーム毎に異なっているので、データをきれいにするためのフィルタについてすべて記載することは实际的でない。

したがって、この「実施規定」では報告書作成の際に使用するデータの要件についてのみ規定する。

使用量データはコンテンツを登録している Web サーバ (ログファイル) から生成できるし、コンテンツ登録データベースのいわゆる「キーイベント」の中の使用量情報を蓄積することでも生成できる。

要件

a. 成功した、有効なリクエストのみを数える。Web サーバログでは成功リクエストとは NCSA の特定のリターンコード (200, 304) があるものである。リターンコードの標準は NCSA で定義され、管理されている。キーイベントを使用する場合はその定義は NSCA の標準と一致している必要がある。(詳細は「付録 D: 実施の際のガイドライ」を参照)

b. リクエストされたページと一緒に生成されたレコード (イメージ、gif、スタイルシート (.css) など) は無視する。

c. http-link における利用者のダブルクリックは 1 リクエストと数える。

ダブルクリックとみなす時間範囲は最初のマウスクリックから次のクリックまで 10 秒と設定すること。

ダブルクリックを 1 人の同一利用者がおこなったことを確認するにはいくつかのオプションがある。

1. 利用者の IP アドレスのみが記録されている場合、その IP アドレスをダブルクリックを追跡するフィールドとして利用する。
2. セッション・クッキーが使用され、記録されている場合、セッション・クッキーをダブルクリックを追跡する手段として利用する。
3. ユーザ・クッキーが使用され、記録されている場合、ユーザ・クッキーをダブルクリックを追跡する手段として利用する。
4. 登録利用者の利用者名が記録されている場合、利用者名をダブルクリックを追跡する手段として利用する。

オプション 1-4 はこの順にダブルクリックのフィルタとしての信頼性が上がっていく。オプション 1 は一番不正確で (情報提供者の観点からは数え漏れが生じる恐れがある)、オプション 4 では結果が最適である。

d. PDF のダウンロードと表示は HTML ページの表示より時間がかかる。したがって、1 件で同一の PDF に対する 1 人で同一の IP/利用者名/セッションまたはユーザ・クッキーによるリクエストは、複数リクエストが 30 秒の時間範囲内で発生した場合は 1 リクエストとして数える。これら複数リクエストは利用者のデスクトップの「更新」または「戻る」ボタンを押すことによっても発生する。

e. 1 件で同一の記事に対して 2 件のリクエストが上記時間範囲内 (HTML では 10 秒、PDF では 30 秒)

に発生した場合、最初のリクエストは削除し、2 番目のリクエストを残す。同一記事に対するこの時間範囲内での以降のリクエストも同様に処理する。常に最初のリクエストを削除し、2 番名を残す。(詳細については「付録 D: 実施の際のガイドライン」のこの手順の実施に関する部分を参照)

6 監査

公認会計士 (英国)、公認職業会計士 (米国)、または各国における相当するもの、または適切な資格のある COUNTER 認可の監査人がセクション 4 および 5 に記載された使用量報告書と処理方法を認証するために必要である。監査の標準と手順については「付録 E: 一般監査要件」に記載されている。情報提供業者は COUNTER 準拠使用量報告書を 2007 年 6 月 30 日以前に独立監査人によって監査を受ける必要があり、2008 年以降も毎暦年 1 回受ける必要がある。

7. 準拠

7.1 日限と手順

2005 年 4 月に最終案として発表された「実施規定」リリース 2 は 2006 年 1 月に確定「実施規定」となる。

COUNTER 準拠の申し込み

COUNTER 準拠使用量報告書が得られる情報提供業者とその製品は COUNTER 事務局で「台帳」に登録し、COUNTER Web サイトに登載されている。情報提供業者はその製品を登録したい場合は業務部長 (pshepherd@ProjectCounter.org) に申し込むことができる。申し込み受付後、その業者は COUNTER ライブラリ・テストサイトの 1 つを使って使用量報告書の評価を受ける必要がある。その使用量報告書が「COUNTER 実施規定」に準拠していると認定された場合は、その業者は COUNTER 準拠申告に署名することを求められ、その後その業者と製品は「台帳」に登録される。その後 1 年以内に使用量報告書とデータが確かに COUNTER に準拠している旨の独立監査人からの報告書が必要である。監査手順についての説明は「付録 E」を参照。

署名した申告書は郵便または Fax で COUNTER 事務局に送付されなくてはならない。

Postal address

COUNTER
PO Box 23544
Edinburgh EH3 6YY
United Kingdom

Fax Number

+44 (0)131 558 8478

7.2 ライセンス契約書

「COUNTER 実施規定」を広く実施してもらうため、情報提供者とのライセンス契約書に以下の項を入れることを顧客に要望する。

「ライセンス許諾者は、ライセンスに含まれる雑誌およびデータベースのオンライン使用量を記載した使用量統計をライセンス実施権者に提供することを確認する。ライセンス許諾者は更に該当使用量統計が、収集されるデータ要素や定義、データ処理のガイドライン、使用報告書の内容、形式、頻度、提供方法において「COUNTER 実施規定」の使用に準拠していることを確認する。」

7.3 統合サービス業者、ゲートウェイ、ホスト

多くの、おそらく大多数のオンライン検索は、探している情報のもともとの情報提供者のサイトではなく、ゲートウェイや統合サービス業者を通しておこなわれている。この場合、意味のある使用量統計を収集することは容易ではない。表 2 に示した手順は、情報仲介業者や統合サービス業者が介在しているばあに、使用量統計を記録し提供するための責任範囲を示している。この手順はリクエストされたページを顧客に届ける際の 5 つのシナリオに対応している。

- 情報提供者サイトから直接
- 統合サービス業者から直接
- 統合サービス業者またはゲートウェイから転送
- ゲートウェイ経由
- 統合サービス業者またはゲートウェイに転送

表 2: 仲介統合サービス業者またはゲートウェイが介在する場合の使用量記録と報告の手順

ページの提供	使用量記録と顧客への報告の責任	使用量なしの場合の報告	注
情報提供者サーバから直接	情報提供者	Yes	利用者へのコンテンツの提供は情報提供者の自分のサービス/サイトからおこなわれ、利用者はそこに直接アクセスする。
統合サービス業者から直接	統合サービス業者	No	利用者へのコンテンツの提供は情報仲介業者（ホストであるゲートウェイ）から、自分が蓄積した出版社のコンテンツを用いておこなわれる。ゲートウェイは全文リクエストの使用量統計を記録し、報告書を直接顧客に（契約で許される場合は情報提供者にも）送る責任がある。（この場合、情報提供者は「ゲートウェイ」経由の使用量を自分

			が直接顧客に提供しているコンテンツの使用量記録に追加してはならない)
統合サービス業者 またはゲートウェイから転送	情報提供者	Yes	情報の提供は、利用者をゲートウェイからリクエストされたコンテンツの情報提供者のサイトに転送することによっておこなわれる。情報提供者は全文使用量統計を記録し、顧客に提供する責任がある。ゲートウェイは顧客に使用量統計を提供してもよいが、自分が直接顧客に全文を提供した場合の統計と区別する必要がある。
ゲートウェイ経由	ゲートウェイ	No	コンテンツはゲートウェイ・サービスの中で、出版社に請求し、それを顧客に提供する。使用量統計を収集し顧客に提供する責任はゲートウェイにある。
統合サービス業者 またはゲートウェイに転送	情報提供者または 統合サービス業者 またはゲートウェイ		この場合、抄録・索引サービスが顧客を全文のゲートウェイに転送する。この場合、全文は上記のシナリオのどれか1つによって提供され、使用量統計の記録と顧客への提供も該当する方法でおこなわれる。

7.4 顧客の情報守秘

7.4.1 プライバシーと利用者の情報守秘

情報提供者は、個々の利用者の情報を開示するような統計報告書やデータを個々の利用者、コンソーシアム、その会員の許可なくして公開または販売してはならない (2001 年 12 月 ICOLC ガイドライン)。

7.4.2 機関やコンソーシアムの情報守秘

情報提供者は、コンソーシアムの管理者と他の会員図書館以外に、許可なくして特定の機関の使用量統計情報を公開または販売する権利はない。類似の機関の情報を統合して比較する目的で、機関またはコンソーシアムデータを利用することは、特定の機関またはコンソーシアムが特定できない限り許可を必要としない。契約で必要な場合は、情報提供者は機関の使用量データをコンテンツ提供者に提供することができる (2001 年 12 月 ICOLC ガイドライン)。

8. 他の標準、手順、実施規定

COUNTER は使用量統計に関する多数の他の提案、標準などに立脚している。その中で特に関連が深いものは下記のとおり。

- **ARL New Measures Initiative.** This has been set up in response to two needs: increasing demand for libraries to demonstrate outcomes/impacts in areas important to the institution, and increasing pressure to maximise resources. Of particular interest is the work associated with the E-metrics portion of this initiative, which is an effort to explore the feasibility of defining and collecting data on the use and

value of electronic resources. This sets a useful context for COUNTER. Further information on the ARL E-metrics project can be found at

www.arl.org/stats/newmeas/newmeas.html

• ***e-measures project: University of Central England, Centre for Information***

Research. This project is designed to support the management of electronic information services in UK higher education institutes. Its objectives are to develop a new set of performance measures for electronic information sources and to pilot these with a view to establishing a new set of standard performance measures.

Further information on e-measures can be found at

www.cie.uce.ac.uk/cirt/emeasures/index.htm

• ***ICOLC Guidelines for Statistical Measures of usage of Web-based Information***

Resources. The International Coalition of Library Consortia (ICOLC) has developed a set of guidelines, revised in 2001, which specify a set of minimum requirements for usage data, and also provide guidance on privacy, confidentiality, access, delivery and report format. The ICOLC Guidelines are particularly relevant to COUNTER. Additional information may be found at

www.library.yale.edu/consortia/2001webstats.html

• ***NISO Forum on Performance Measures and Statistics for Libraries and NISO***

Standard Z39.7. Aspects of a number of NISO standards are relevant to

COUNTER. For further information, see www.niso.org

9 COUNTER の管理

COUNTER はイングランドにおいて Counter Online Metrics (Company No. 4865179) として設立されている。法的な責任は理事会にあり、国際諮問委員会によって支援される執行委員会が全般的な運営とプロジェクトの方向性に責任がある。個々の責任は執行委員会から業務部長に委託されており、業務部長は COUNTER の日常的な運営に責任をもっている。(「付録 C」を参照)

10 「COUNTER 実施規定」の維持と開発

COUNTER の執行委員会が「実施規定」の全般的な開発と維持に責任がある。新規リリースが 1 年に 1 回を超えて発行されることはない。各新規リリースはまず案として COUNTER の Web サイトにおいて公開され、コメントを受けてから確定される。

コメントを提供する場合は次のガイドラインにしたがっていただきたい。

できるだけ限定し、「実施規定」の該当するセクション/サブセクションを記載する。

「実施規定」への追加を提案する場合は、現行の版の中で希望するセクションを提案する。

Appendices

Appendix A: Glossary of Terms Relevant to COUNTER

Appendix B: Vendor Declaration of COUNTER-compliance

Appendix C: Organizational Structure of COUNTER

Appendix D: Guidelines for Implementation

Appendix E: Auditing Requirements and Tests

Appendix F: CSV Usage Report Examples

Appendix G: XML DTDs for Usage Reports

Appendix H: Additional Optional Usage Reports